

製品名: RAR α (リン酸化 Ser77) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05349**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	RARA
別名	RARA; NR1B1; Retinoic acid receptor alpha; RAR-alpha; Nuclear receptor subfamily 1 group B member 1
遺伝子 ID	5914.0
SwissProt ID	P10276
免疫原	抗血清は、ヒトレチノイン酸受容体 α の Ser77 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 46-95

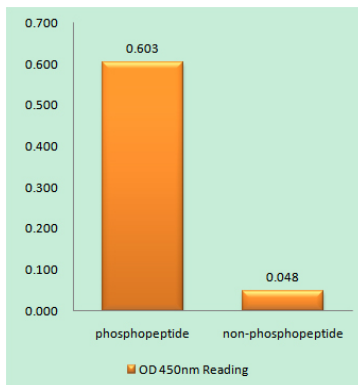
背景

この遺伝子は核内レチノイン酸受容体である。コードされているタンパク質、レチノイン酸受容体 α は、リガンド依存的に転写を制御する。この遺伝子は、発生、分化、アポトーシス、顆粒球形成、および時計遺伝子の転写の制御に関与している。この遺伝子座と他のいくつかの遺伝子座との間の転座は、急性前骨髄球性白血病と関連付けられている。この遺伝子座では、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2010年9月]、疾患: RARA に関連する染色体異常は、急性前骨髄球性白血病 (APL) の原因となる可能性がある [MIM:612376]。ZBTB16/PLZF との転座 t(11;17)(q32;q21)、PML との転座 t(15;17)(q21;q21)、NPM との転座 t(5;17)(q32;q11)。,ドメイン:3つのドメインから構成されます: 調節 N 末端ドメイン、DNA 結合ドメイン、C 末端ステロイド結合ドメイン。,機能:これはレチノイン酸の受容体です。この代謝物は脊椎動物の発生に大きな影響を与えます。レチノイン酸は形態形成因子であり、強力な催奇形性物質です。この受容体は遺伝子発現を直接制御することにより細胞機能を制御します。,オンライン情報:レチノイン酸受容体エントリー,PTM:リン酸化されています。リン酸化は細胞周期を通じて変化させます。Ser-77 のリン酸化は転写活性に重要です。,類似性:核ホルモン受容体ファミリーに属します。,類似性:核ホルモン受容体ファミリーに属します。NR1 サブファミリー。,類似性:1つの核受容体 DNA 結合ドメインを含みます。,サブユニット:CDK7 と相互作用します (類似性による)。NCOA3 および NCOA6 コアクチベーターと相互作用し、標的遺伝子の転写を強力に促進します。NOCA7 とはリガンド誘導性に相互作用します。

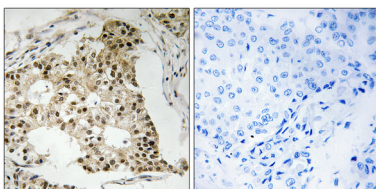
研究分野

がんの経路;急性骨髄性白血病;

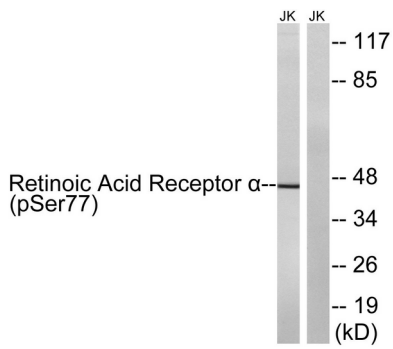
画像データ



レチノイン酸受容体 α (リン酸化 Ser77) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



レチノイン酸受容体 α (リン酸化 Ser77) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30分処理した Jurkat 細胞とインスリン 0.01U/ml 15分処理した Jurkat 細胞のライセートを、レチノイン酸受容体 α (リン酸化 Ser77) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。